

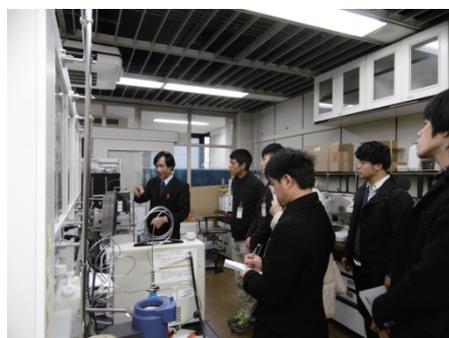
産業技術総合研究所、物質・材料研究機構見学報告

平成 30 年 2 月 1 日、2 日につくば市にある物資科学の研究を進める研究所を訪問、国が進める先端研究の一端に触れ、実際の研究現場で研究者の方々から説明を受け、意見交換することで、国内研修先の候補としての可能性や、将来のキャリアプラン形成の一助とすることを目的として実施した。M1 の履修生中心に 6 名が参加した

産業技術総合研究所では、これまでできなかった柔構造分子の構造の解析や、新たな化学プロセスを駆使して機能材料を合成する取組、カーボンナノチューブの実用化を目指した研究など、産業応用を意識した研究テーマについて知ることが出来た。また、見学終了後に研究員との懇談の機会をいただき、日常の研究生活や、産総研に就職するための秘訣などを享受頂いた。物質・材料研究機構では、全国の共同利用設備の見学に始まり、ナノ物質の生体適合性や導電性高分子の研究状況、リニアモーターカーで注目される超伝導線材の研究開発、WPI の MANA 拠点では微量化学物質のセンサーや半導体デバイス、さらには酸化物の単結晶合成など、非常に基礎的な取組を照会いただいた。参加した学生からは、多様な取組がなされている状況にふれ、就職先としても魅力を感じた、基礎研究とでもしっかりと産業応用を見据えた説明を受けて大変参考になった。物材機構の研究員の方から、「物理と化学の融合、境界領域、学際領域といった概念は既に過去のもの、これからはサイエンスの視点から幅広く考えねばならない」とのコメントが印象に残った見学でした。



機能創出のためのプロセス研究



生体適合に関する研究



大気中の微量の化学物質検出の研究



産総研で集合写真